

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2021年1月～3月期

第100回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事: 宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 令和2年10月～12月比
 - (2)前年同期比 令和2年1月～3月比
 - (3)来期見通し 令和3年4月～6月見通し
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	131社
回答率	26.2%

(業種別)

製造業	33社
建設業	27社
卸売業	12社
小売業	24社
サービス業	35社
合計	131社

(2) 実施時期

2021年1月～3月期

(3) 調査内容

調査対象の第3四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

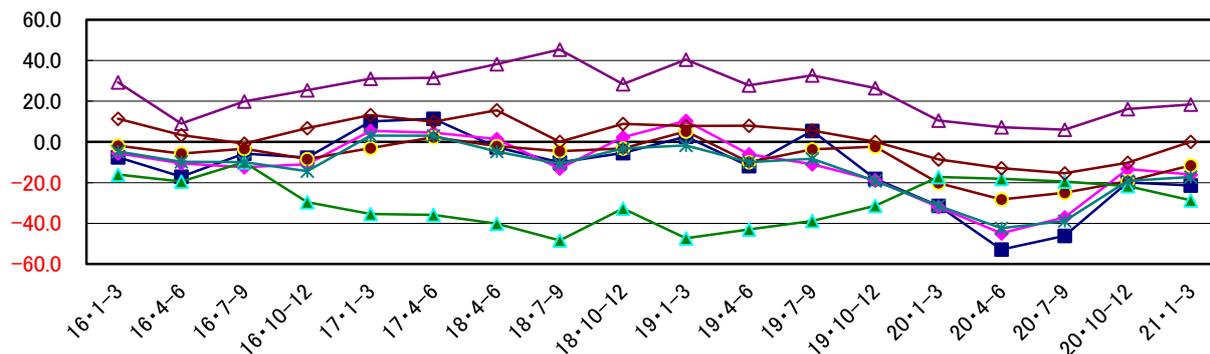
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

売上DI	=	(増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)
採算DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
資金繰りDI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
仕入価格DI	=	(下落 ")	—	(上昇 ")
雇用状況DI	=	(不足 ")	—	(過剰 ")
設備投資DI	=	(拡大 ")	—	(減少 ")
業況DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")

2. 調査結果(DI)

前年同期比(全企業DIの6か年の推移)



	16-1-3	16-4-6	16-7-9	16-10-12	17-1-3	17-4-6	18-4-6	18-7-9	18-10-12	19-1-3	19-4-6	19-7-9	19-10-12	20-1-3	20-4-6	20-7-9	20-10-12	21-1-3
■ 売上	-7.5	-17.1	-5.8	-7.6	10.0	11.4	-2.7	-10.1	-5.5	2.6	-11.9	5.5	-18.1	-31.4	-52.9	-46.2	-19.9	-21.4
◆ 採算	-5.6	-10.6	-12.4	-11.0	5.4	4.5	1.3	-13.1	2.4	10.3	-6.0	-10.9	-18.9	-32.0	-44.9	-37.1	-13.3	-16.0
● 資金繰り	-1.9	-5.7	-3.3	-8.5	-3.1	2.3	-2.0	-4.6	-3.2	5.2	-9.9	-3.7	-2.4	-20.3	-28.3	-25.0	-19.4	-11.5
▲ 仕入価格	-16.0	-19.5	-10.0	-29.7	-35.4	-35.9	-40.1	-48.4	-32.8	-47.4	-43.0	-38.9	-31.5	-17.2	-18.1	-19.5	-21.6	-28.7
△ 雇用状況	29.3	8.9	19.8	25.4	31.0	31.6	38.3	45.4	28.4	40.5	27.8	32.7	26.4	10.5	7.2	6.0	16.2	18.3
◇ 設備投資	11.3	3.3	-0.8	6.8	13.2	9.9	15.5	0.0	8.8	7.8	8.0	5.5	0.0	-8.6	-12.9	-15.4	-10.3	0.0
* 業況	-4.7	-9.8	-10.0	-14.4	3.1	3.0	-4.8	-10.8	-3.3	-1.7	-10.0	-8.3	-19.2	-31.4	-42.4	-38.8	-19.1	-17.2

3. 概況

県独自の緊急事態宣言の影響

(1) 今期の特徴

今期は、1月に県独自の緊急事態宣言が発令され、県民に対して外出自粛等の制限が設けられ、飲食関係においては営業時間短縮や休業の要請があったことで、業種を問わず受注量の減少や業況の悪化等の影響が出ている。また、県内の1日の感染者数が100を超えるなど歴史的な危機に直面した。

(2) 来期の見通し

来期の見通しについては、全業種で先行きが不透明と予想するコメントが多く見られた。新型コロナウイルス感染症の収束の目途が見えず、また変異型という新たな脅威もあり、より一層外出自粛等の意識が高まり、経済への影響が大きくなると予想される。ワクチン接種が進むことによる業況の回復を望むコメントがあった。

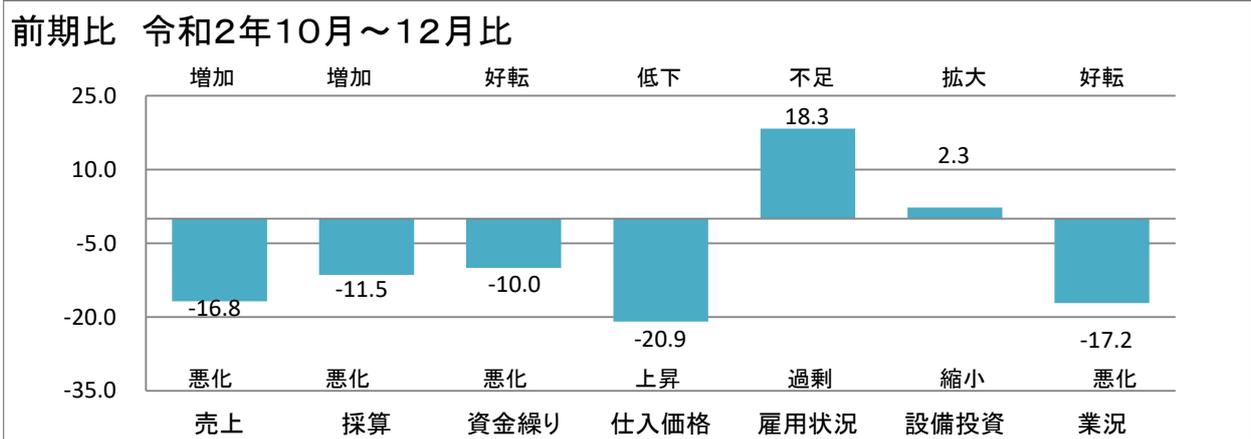
(3) 経営上の問題点

1位「需要の停滞」、2位「従業員の不足」、3位「熟練技術者(従業者)の不足」、4位「人件費の増加」、5位「原材料(仕入単価)価格の上昇」という結果になった。

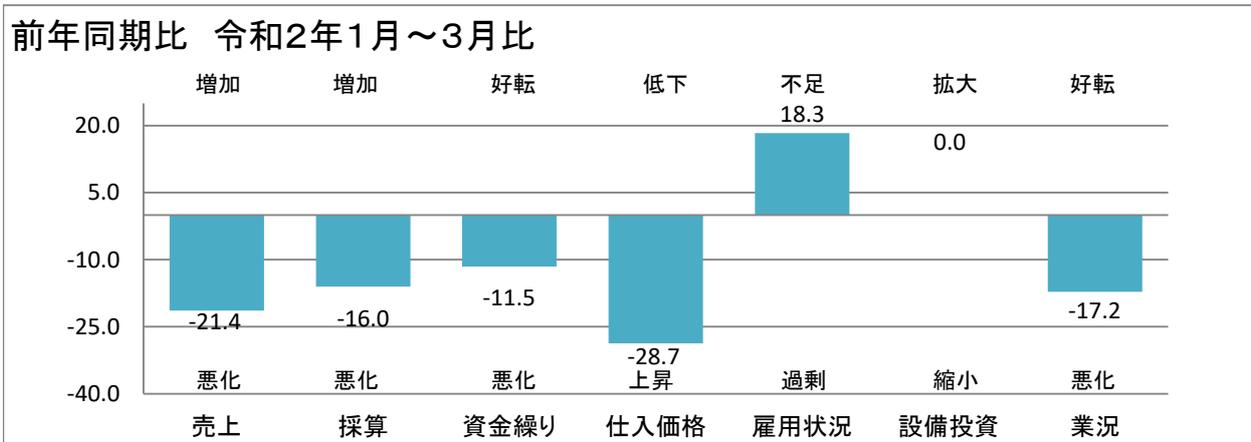
(4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理化を実施したい」、5位「新製品を開発を行いたい」という結果になった。

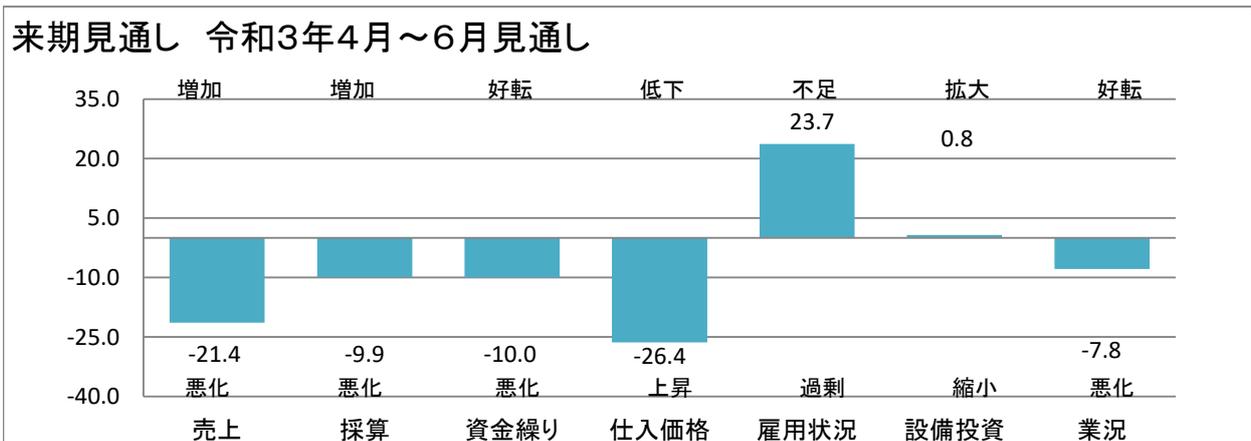
4. 県内の景気動向(全業種)



前期と比較すると、設備投資DIは拡大を示すも、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。1月に県独自の緊急事態宣言が出たことを受け、全業種で売上DIはマイナスの数値を示す結果となった。製造業、卸売業、小売業、サービス業においては、飲食関係の売上減少の影響を連鎖的に受けている。



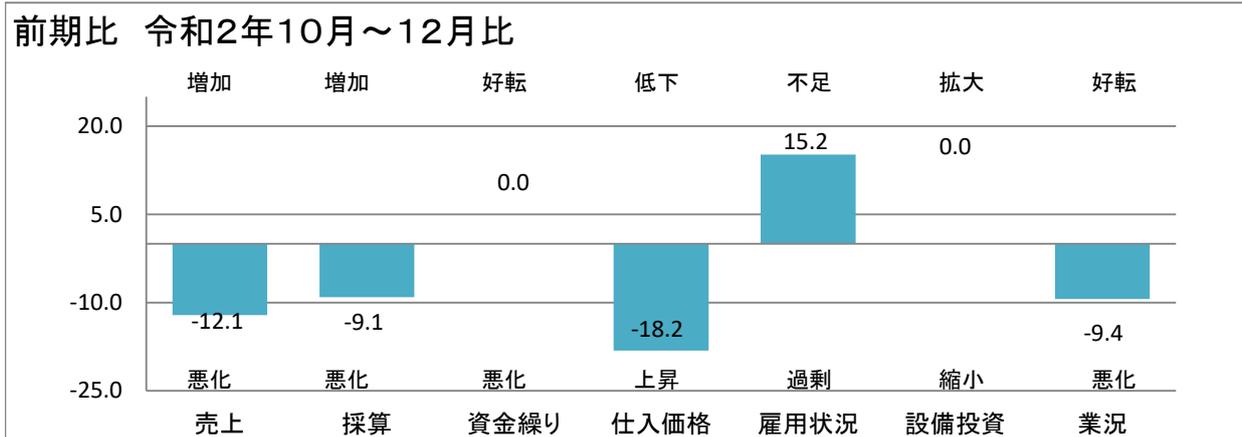
前年同期と比較すると、雇用状況DIが不足、その他の項目は0またはマイナスの数値を示す結果となった。建設業においては、売上DIはプラスの数値を示したが、その他の業種はマイナスの数値を示した。特に卸売業では、県独自の緊急事態宣言による外出自粛等の影響で、飲食業の売上減少等の影響を大きく受け、前年度以上に業況が悪化したとのコメントがみられた。



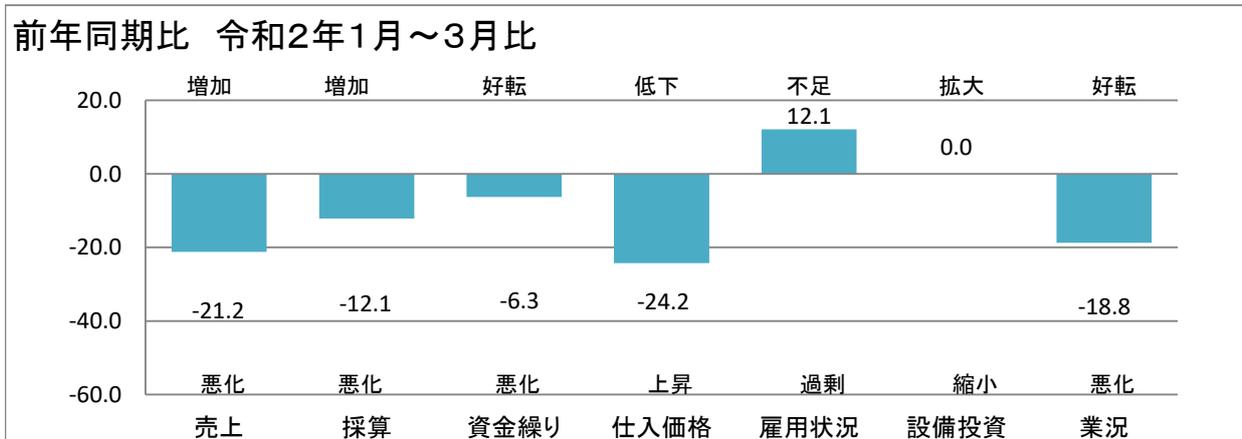
来期の見通しは、設備投資DIは拡大を示すも、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、変異株も出てくるなど、先行きに対して不安視するコメントが多くみられた。また、先行きやコロナの終息が見えない状況に、見通しを立てることがのできない経営状況が続くとのコメントも見られた。

5. 業種別の景気動向

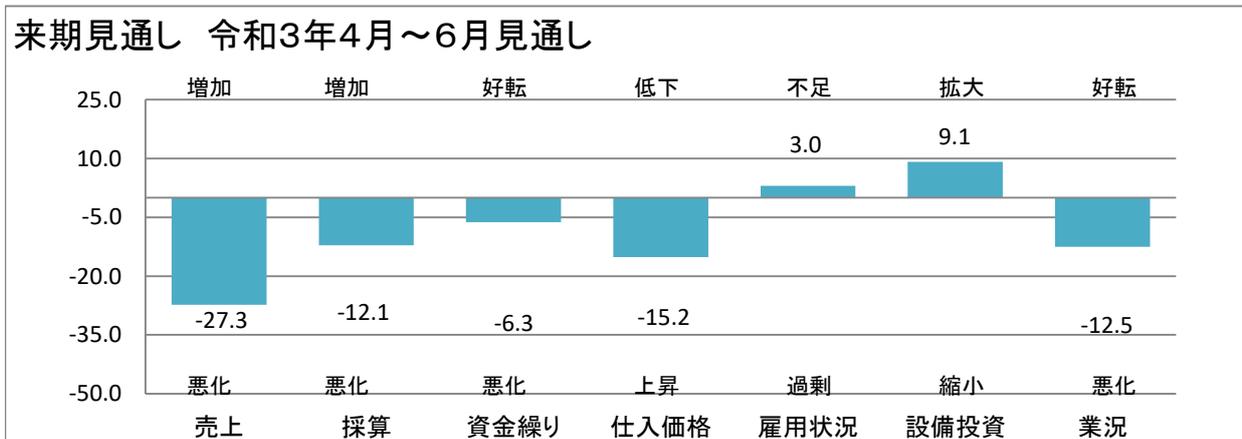
(1) 製造業



前期と比較すると、売上DI、採算DI、仕入価格DI、業況DIはマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、受注が減少したことによる売上高の減少を挙げるコメントが多くみられた。酒類製造関係では、飲食店からの需要減少の影響で売上高、業況が悪化しているというコメントがみられた。また、多くの企業において前期と同様の状況を表す不変の回答が大部分を占めている。



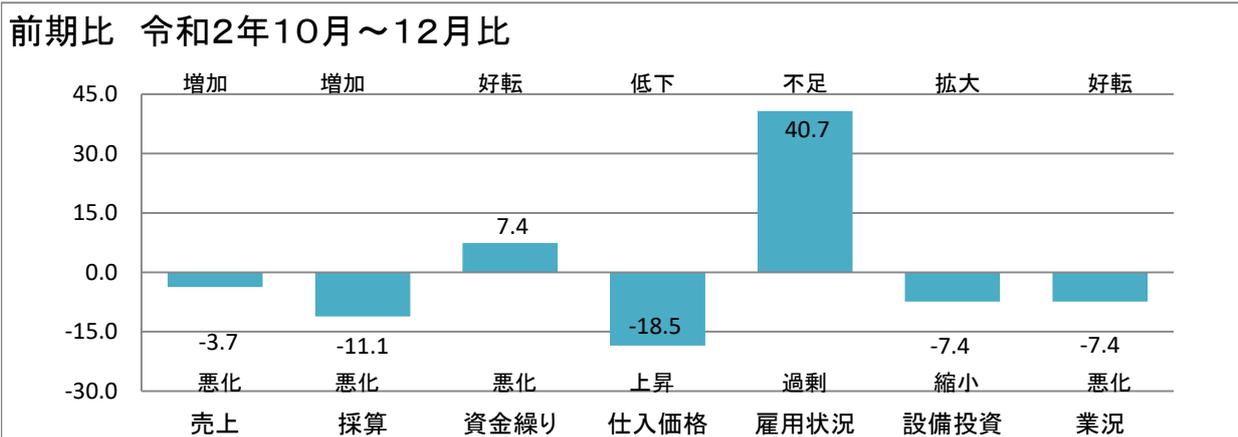
前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、その他の項目でほとんどがマイナスの数値を示す結果となった。昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、業況が変わっていないというコメントが多くみられた。一方、半導体関係の企業においては、新型コロナウイルス感染症の影響はあまりないとコメントがあり、売上高の動きが例年よりずれ込むと回答する企業も複数社ある。



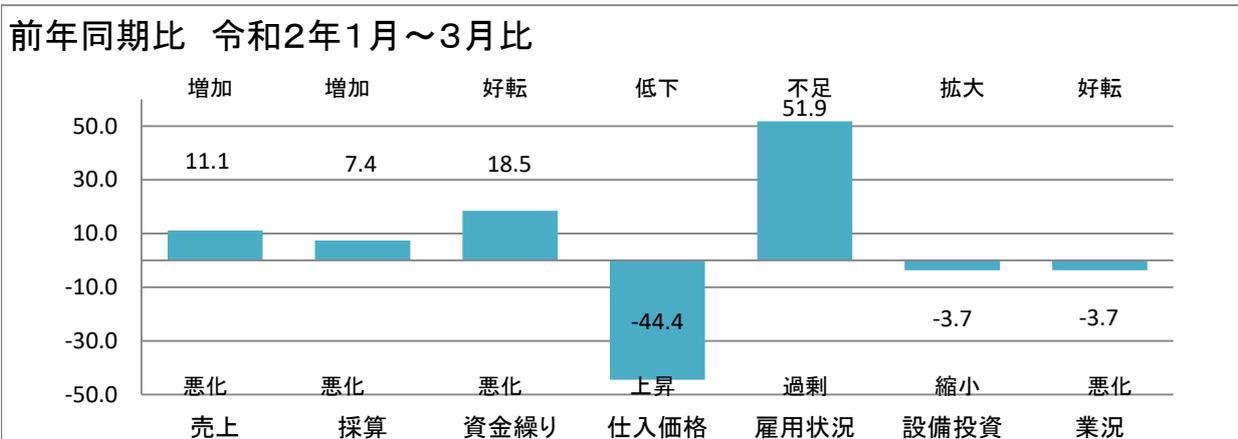
来期の見通しは、雇用状況DIは不足、設備投資DIが拡大、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響による受注減少や先行きが見えない不透明な状況を不安視するコメントが多くみられた。一方、電子部品関係や半導体関係においては、スマートフォンや自動車部品の受注回復、国産製品への注文増加、海外からの受注増など好転を挙げている。

5. 業種別の景気動向

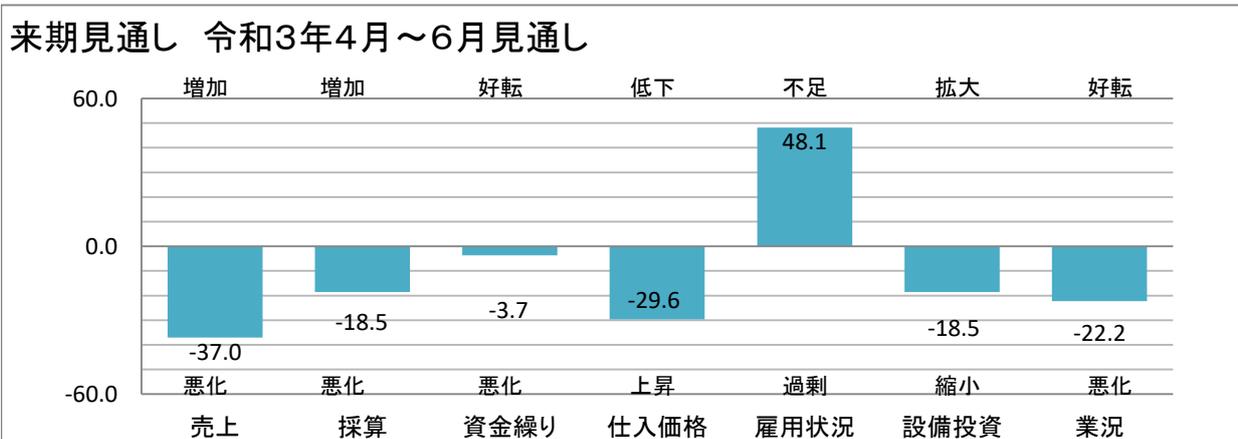
(2) 建設業



前期と比較すると、資金繰りDIが好転を示すも、雇用状況DIは大きく不足を示し、人材が不足している状況である。その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。年度末ということで、新規発注はなくなり例年悪化する時期というコメントがある一方、土木関係では民間・公共工事ともに受注が増加するというコメントがみられた。受注先によって年度末の受注に大きな差が生まれている。



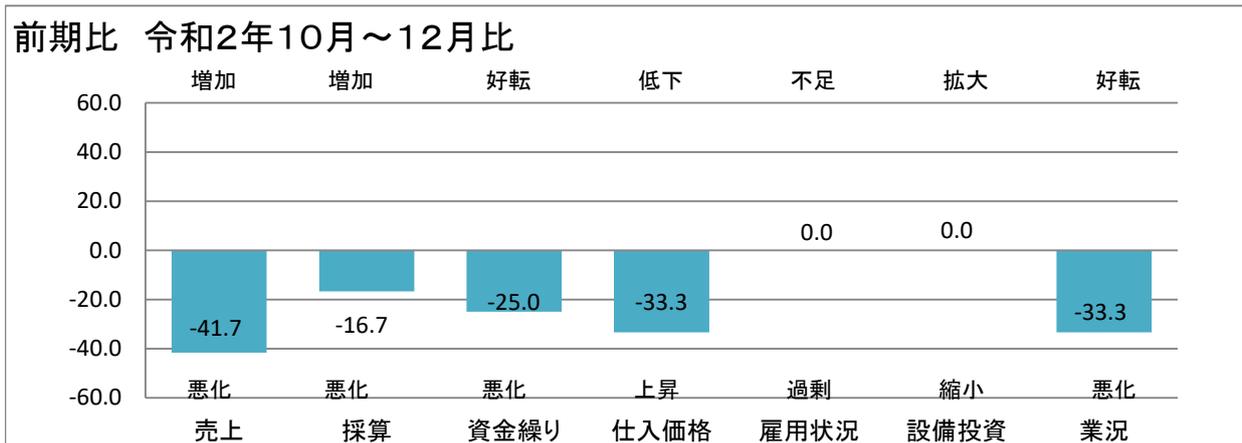
前年同期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIがプラスの数値を示す結果となった。しかし、雇用状況DIは引き続き大きな不況を示し、仕入価格DIは突出して大きなマイナスの数値を示す結果となった。前年度の新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた時期に比べると、徐々に受注量も元に戻ってきているというコメントがあるものの、受注量の減少による悪化を挙げる企業が多い。



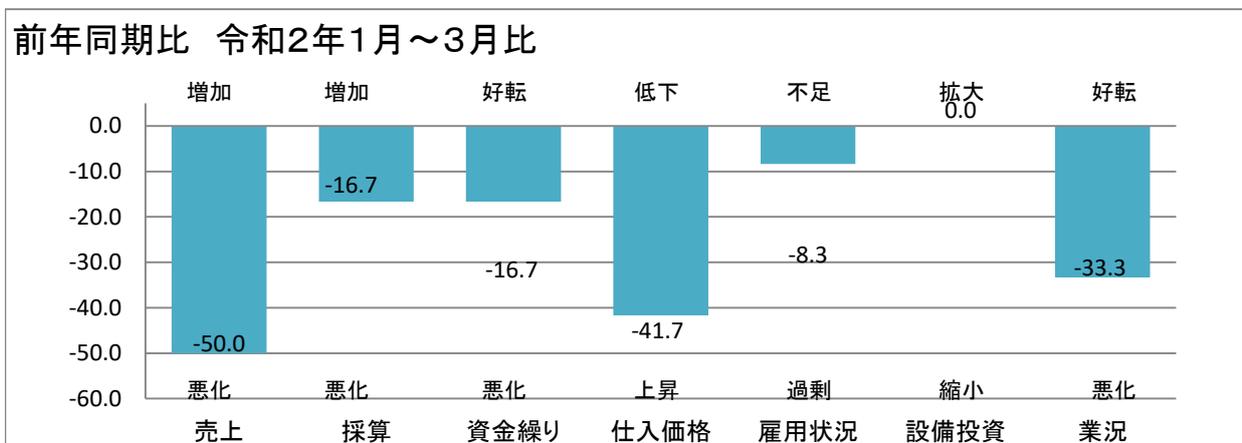
来期の見通しは、雇用状況DIは来期においても大きな不足を示し、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、業況の好転は難しいというコメントや入札制度の改革や官庁等の受注減少の影響を不安視するコメントが多くみられた。一方、官公庁の予算がついたことで需要を見込むコメントや新事業展開による好転を挙げる企業がみられた。

5. 業種別の景気動向

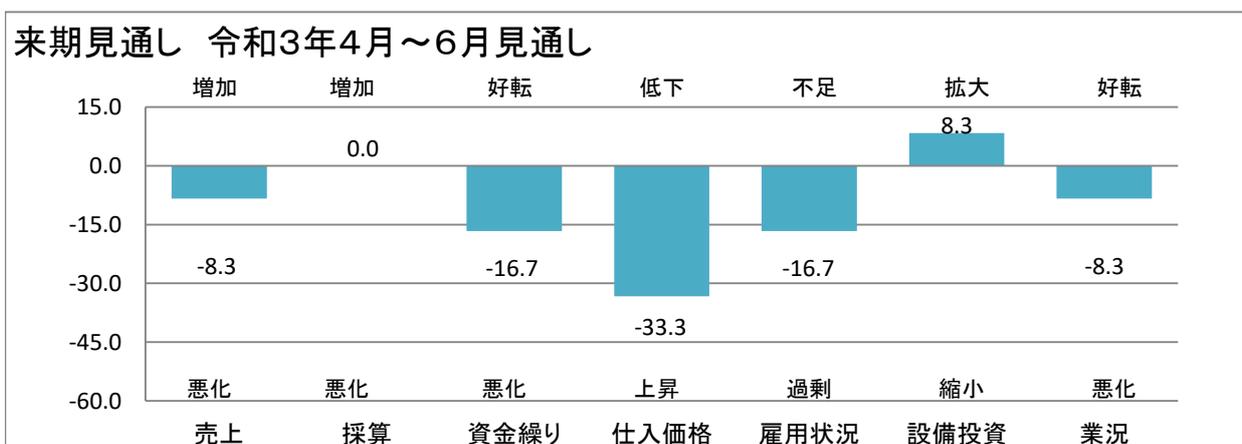
(3) 卸売業



前期と比較すると、全ての項目で0またはマイナスの数値を示し、特に売上DIのマイナス拡大が著しい。年末が繁忙期であり、その反動で今期は売上が減少したとのコメントや緊急事態宣言が発令されたことに加え、季節的な要因が重なったことで需要が大きく減少したとのコメントがみられた。また、需要低迷の中で、仕入価格の上昇による負担を強いられる企業もある。



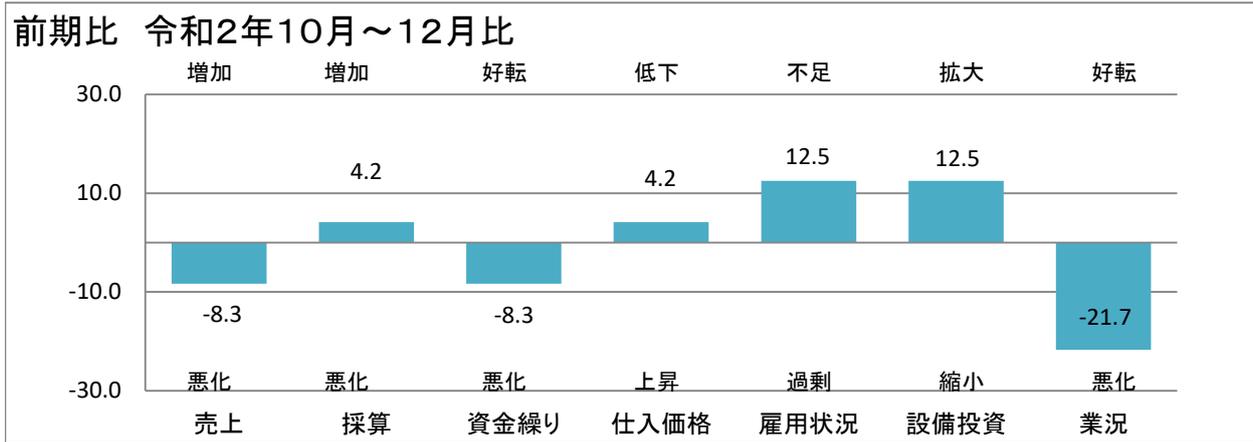
前年同期と比較すると、全ての項目で0またはマイナスの数値を示す結果となった。特に売上DIは△50、仕入価格DIが△41.7を示し、業界全体で薄利営業をよぎなくされている様子である。酒類・食品卸売関係では緊急事態宣言が発令されたことにより、外食需要が大きく減少または消滅した。前年も厳しい経営状況であったがそれ以上に業況が悪化したとのコメントがみられた。



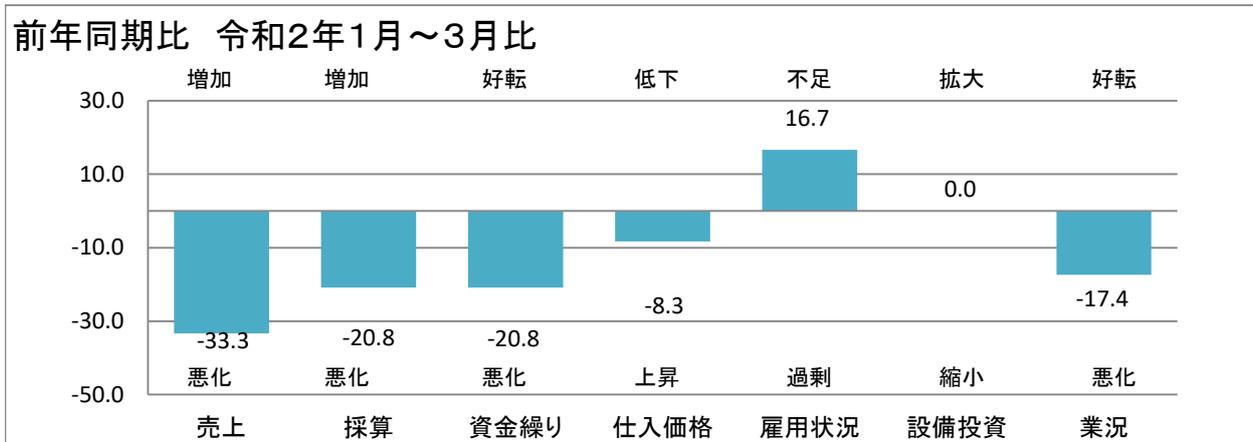
来期の見通しは、設備投資DIが拡大を示すも、その他の項目は0またはマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響による需要の停滞、消費者の買い控えの継続等を不安視するコメントがある。一方、緊急事態宣言の解除後に、新型コロナウイルス感染症の鎮静化を期待し、需要の回復を期待するコメントや昨年からの反動による受注増加を挙げるコメントがみられた。

5. 業種別の景気動向

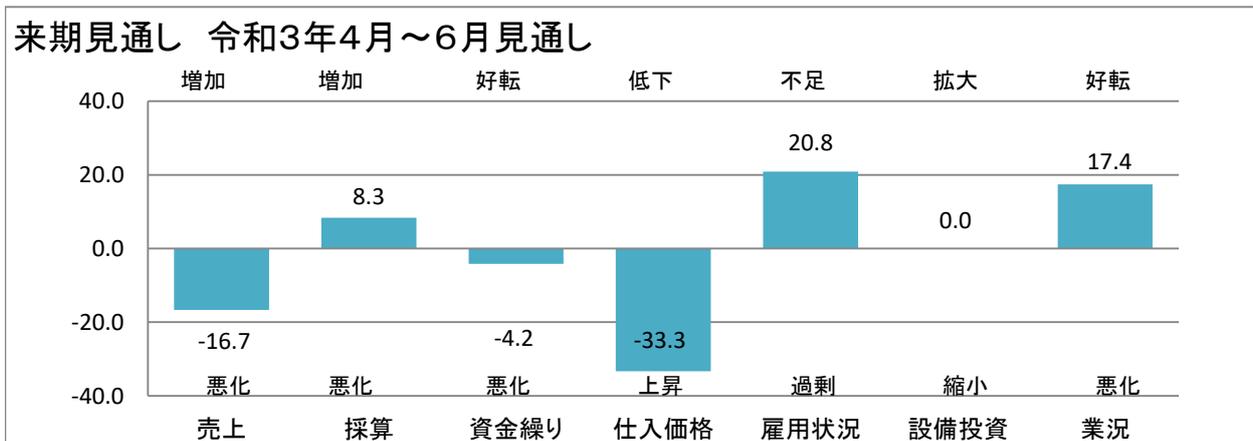
(4) 小売業



前期と比較すると、雇用状況DIは不足を示し、売上DIや資金繰りDI、業況DIはマイナスの数値を示す結果となった。そのような中、採算DIはわずかにプラスを示し、一部企業では需要が増加しているようである。県独自の緊急事態宣言により、外出を控える状況になり、百貨店では3密回避で集客催事を見送ったとのコメントがあった。一方、一部の企業では、繁忙期に入り、売上が増加したとのコメントがみられた。



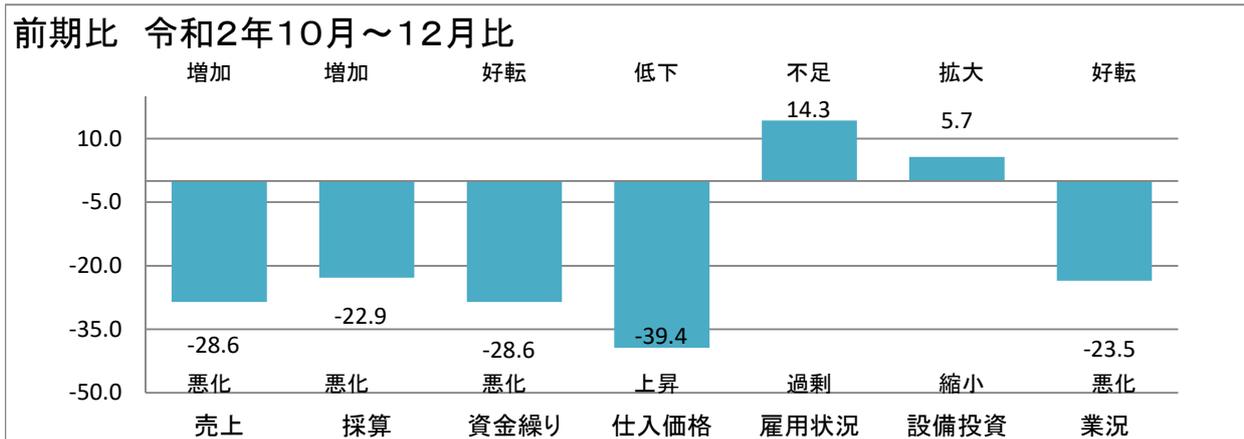
前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、その他の項目は0またはマイナスの数値を示す結果となった。特に、売上DIは△33.3を示すマイナスとなり、昨年から続く、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける形となった。県独自の緊急事態宣言の影響により、需要が減少し、加えて時短営業の要請があり、売上が減少したとのコメントがみられた。



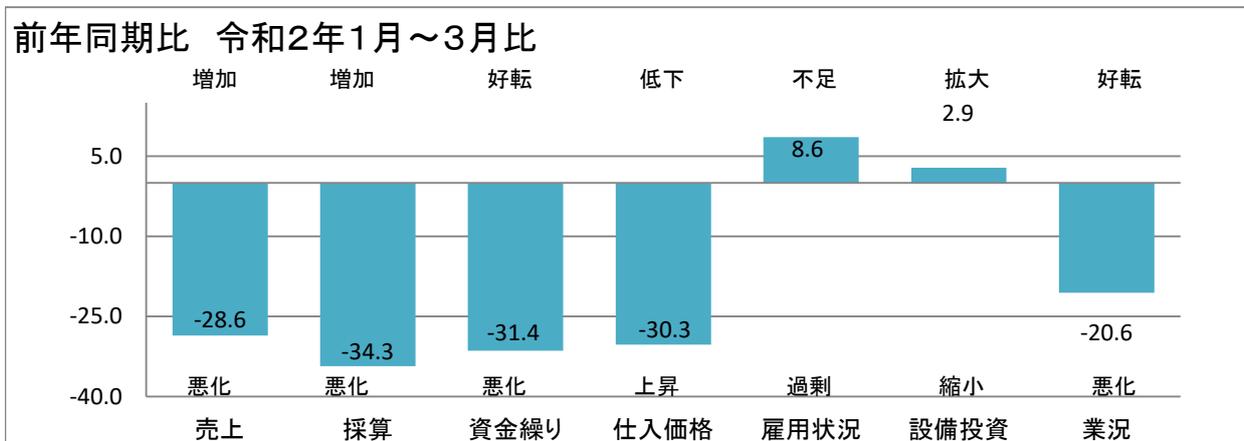
来期の見通しは、採算DI、業況DIはプラスの数値を示す結果となったが、その他の項目は0またはマイナスの数値を示す結果となった。中でも、仕入価格DIは△33.3を示し、消費低迷と合わせ、厳しい状況にある。新型コロナウイルス感染症の影響により対応がの遅れや終息の見えない状況が続くことにより、収益の減少つながる等今後を不安視するコメントが多くみられた。

5. 業種別の景気動向

(5) サービス業

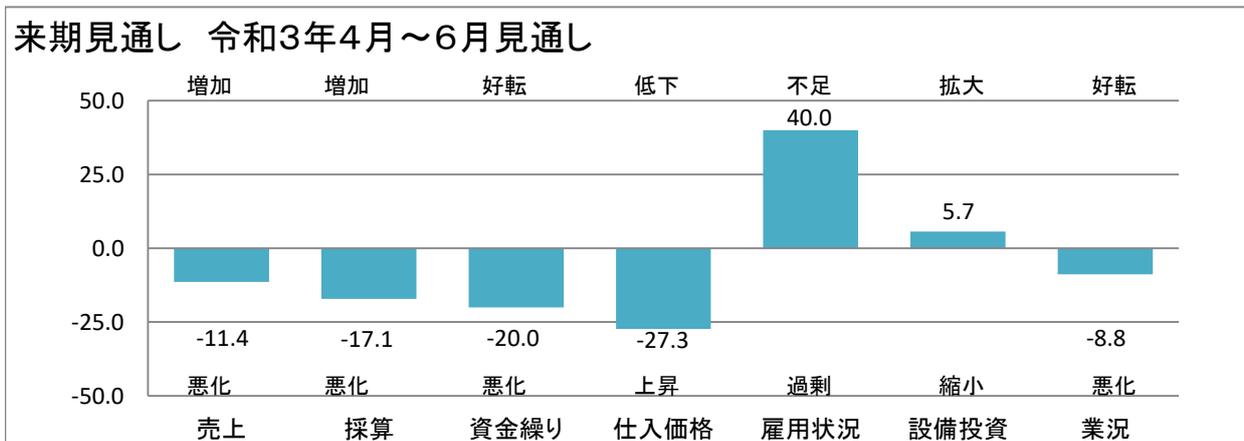


前期と比較すると、設備投資DIは拡大を示すが、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。1月の県独自の緊急事態宣言の影響が大きく、県民の意識の変化等により需要が低迷しているというコメントがみられた。



前年同期と比較すると、設備投資DIは拡大を示すも、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。

タクシー関係では、県外客の往来がなく、県独自の緊急事態宣言により夜間の乗客が減少し、加えて昼間の利用客も減少しているというコメントがみられた。

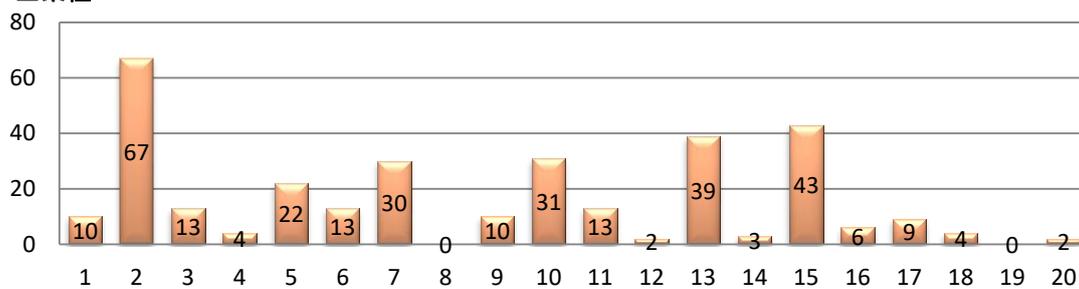


来期の見通しは、設備投資DIは拡大を示すも、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。

新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続く予想し、先行きを不安視するコメントが多く見られた。ワクチン接種が進むことによる業況の好転を望むコメントもみられた。

6. 経営上の問題点

全業種

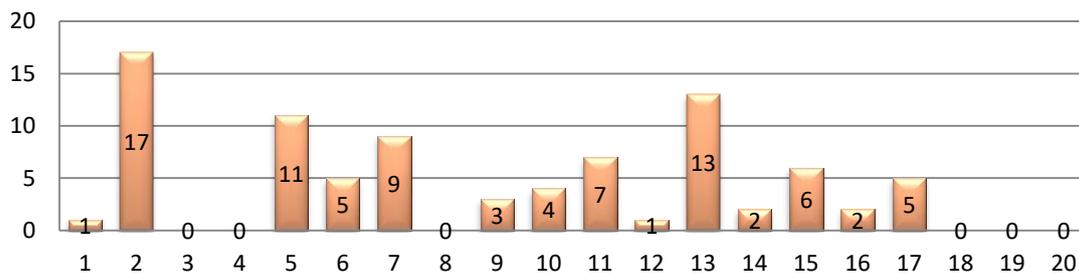


順位

1位 需要の停滞
2位 従業員の不足
3位 熟練技術者(従業者)の不足

4位 人件費の増加
5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

製造業

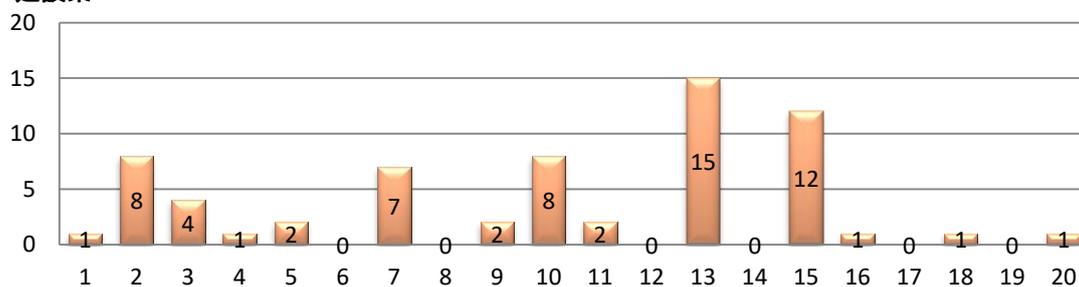


順位

1位 需要の停滞
2位 熟練技術者(従業者)の不足
2位 生産設備の不足・老朽化

4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

建設業



順位

1位 熟練技術者(従業者)の不足
2位 従業員の不足
3位 需要の停滞

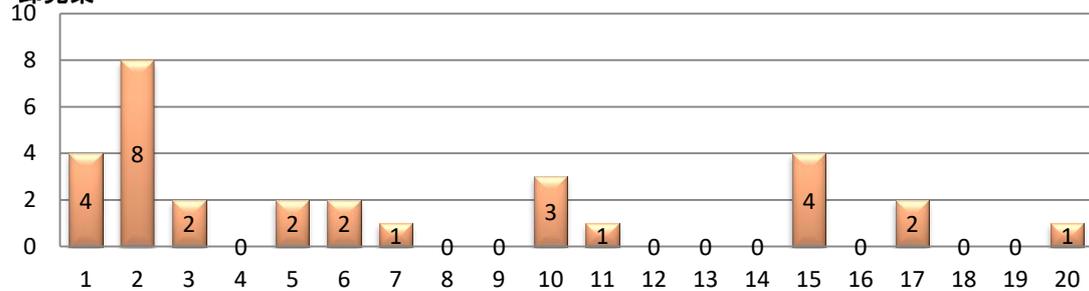
3位 人件費の増加
5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

6. 経営上の問題点

卸売業



順位

1位 需要の停滞

2位 県外大手企業の進出による競争の激化

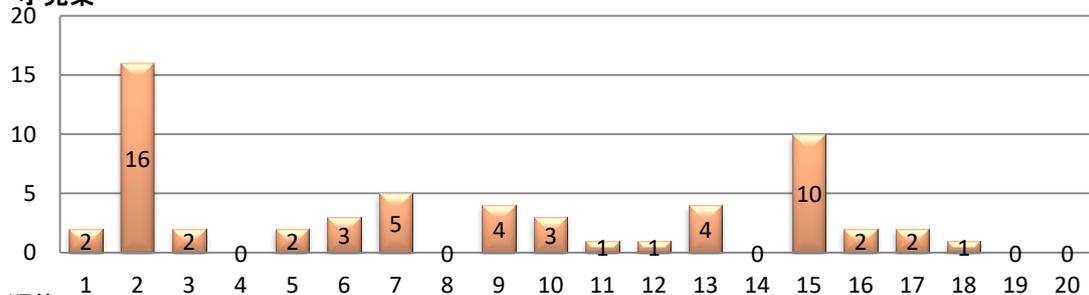
2位 従業員の不足

4位 人件費の増加

5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

5位 生産設備の不足・老朽化

小売業



順位

1位 需要の停滞

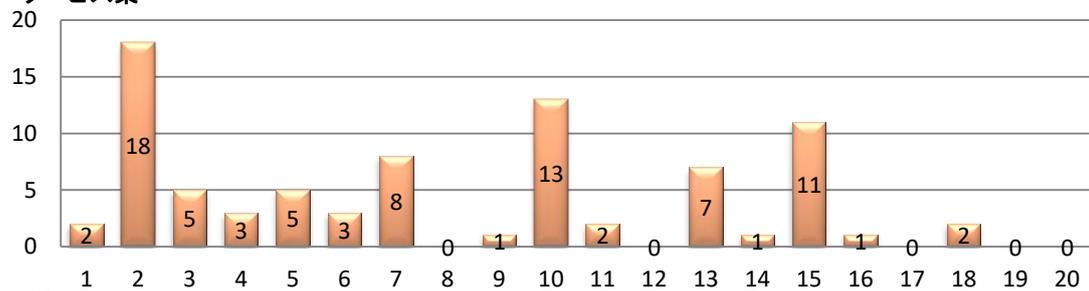
2位 従業員の不足

3位 原材料(仕入単価)価格の上昇

4位 原材料・人件費以外の経費の増加

4位 熟練技術者(従業者)の不足

サービス業



順位

1位 需要の停滞

2位 人件費の増加

3位 従業員の不足

4位 原材料(仕入単価)価格の上昇

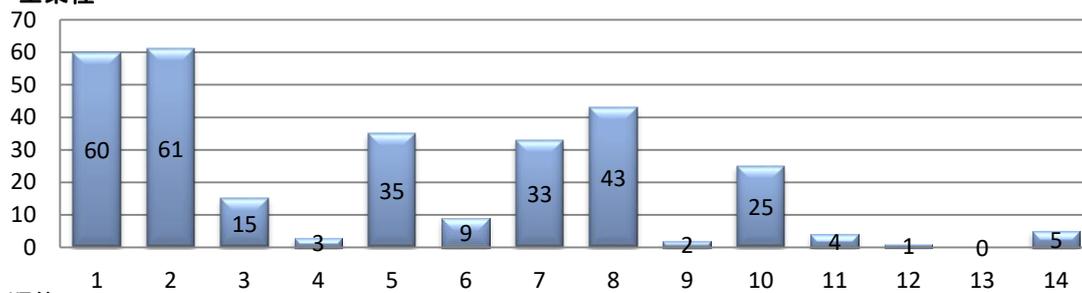
5位 熟練技術者(従業者)の不足

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

全業種

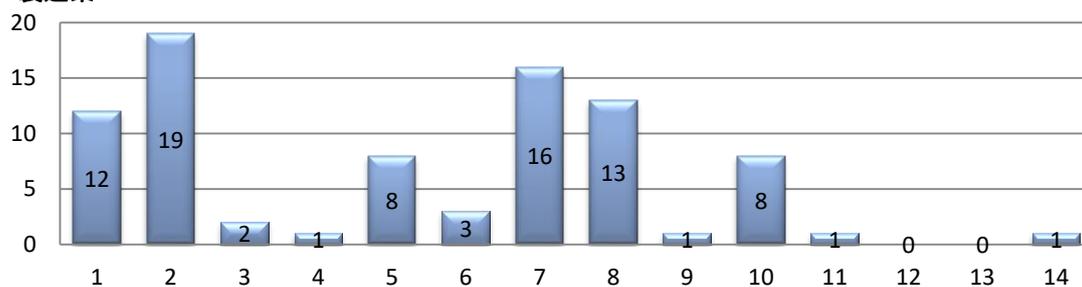


順位

1位 生産性を向上させたい
2位 従業員を新規雇用したい
3位 新規市場を開拓したい

4位 その他の合理化を実施したい
5位 新製品の開発を行いたい

製造業

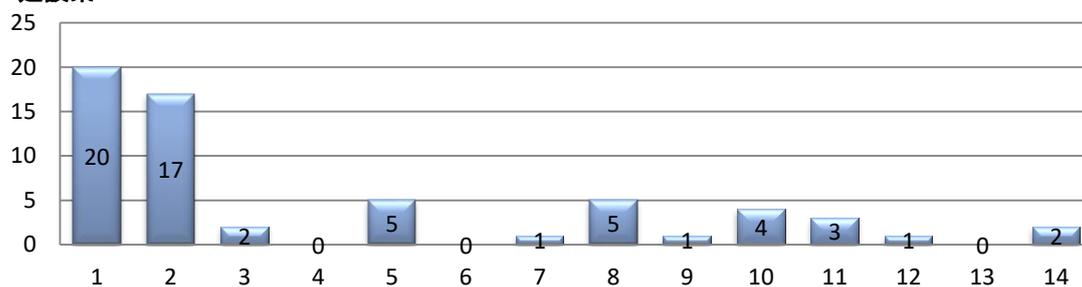


順位

1位 生産性を向上させたい
2位 新製品の開発を行いたい
2位 新規市場を開拓したい

4位 従業員を新規雇用したい
5位 その他の合理化を実施したい
5位 経営の多角化を行いたい

建設業



順位

1位 従業員を新規雇用したい
2位 生産性を向上させたい
3位 その他の合理化を実施したい

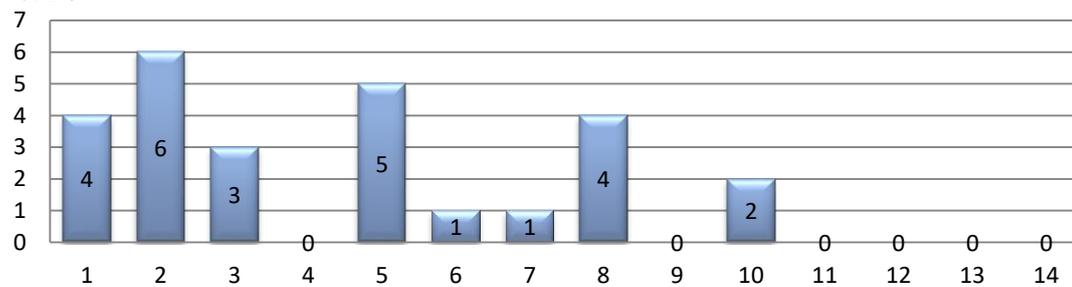
3位 新規市場を開拓したい
5位 経営の多角化を行いたい

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |

7. 今後の対応策

卸売業



順位

1位 生産性を向上させたい

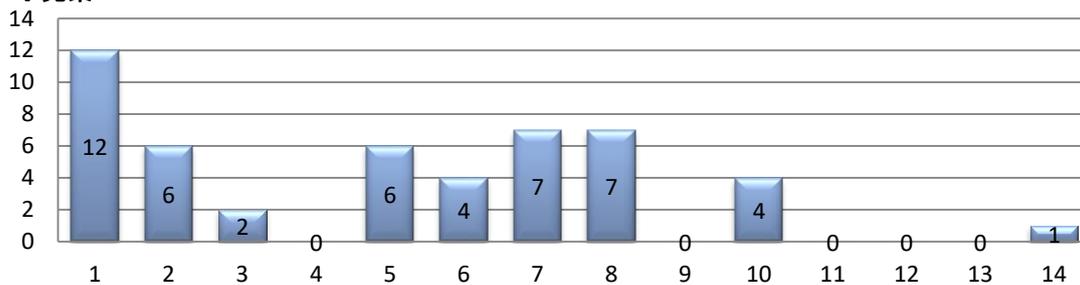
2位 その他の合理化を実施したい

3位 従業員を新規雇用したい

3位 新規市場を開拓したい

5位 人件費を削減したい

小売業



順位

1位 従業員の新規雇用をしたい

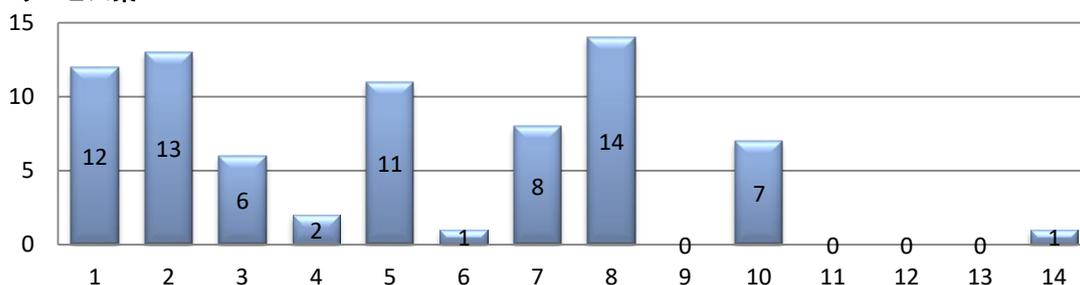
2位 新製品の開発を行いたい

2位 新規市場を開拓したい

4位 生産性を向上させたい

4位 その他の合理化を実施したい

サービス業



順位

1位 新規市場を開拓したい

2位 生産性を向上させたい

3位 従業員を新規雇用したい

4位 その他の合理化を実施したい

5位 新製品の開発を行いたい

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	色々な支援をしていただいているが、これから先、5年後についての状況が見えない。思い描くことが難しい。どのような生活様式に変化していくのか不安。
製造業	印刷業	宮崎	コロナ禍による、景気対策の拡充。資金面についての制度の延長。
製造業	焼酎製造販売	串間	そもそも三密こそを良し「多くの人々が集まることを前提としている業種(酒類業界)ですので大きなダメージを及んでいる。一時支援金などの売上高減少率の緩和(20%減相当)をしてほしい。
製造業	ラベル・シール印刷	都城	補助金の申込において将来的な達成を求められると不透明な状況では、申し込みが難しくなる。
製造業	コンクリート製品	日南	軽減免税等の継続や公共事業費の拡充。
小売業	緑茶・御結納・中国茶・茶道具販売並びに喫茶	宮崎	飲食店関連に偏った政策ばかり。もっと全体的な経済支援政策が急務。

小売業	記念品販売	小林	介護職員の確保が困難になっており、今春の介護報酬の減額は、今後の企業経営に大きくかかってきそうである。
小売業	百貨店	宮崎	雇用調整助成金の継続的支援を強く希望。
小売業	食料品小売業	高鍋	新型コロナウイルス感染症対策をきちんとして欲しい。
小売業	小売酒販店	日南	新型コロナウイルス感染症の治りを待ちながら次の手を探す。
小売業	石油小売	小林	コロナ支援対策が特定業種に偏っている。各業種とも様々な影響を受けていると思う。今一度、対策の点検をして欲しい。
小売業	飲食業	西都	西都市にはキャンプ場がない。折角自然豊かなのに、アウトドア人口が増えているコロナ禍、自然を生かさない手はない。
小売業	切花鉢物販売	延岡	全てにおいて、状況はあくまで現状であり、それは厳しくもあり、チャンスでもあると思います。何事も簡単に出来ることはないと考えている。一つ一つたゆまぬ努力が必ず実を結ぶと思う。

小売業	自動車販売整備	宮崎	まずはコロナ禍が一日も早く鎮静化することが最重要課題と思われる。諸外国に比べてワクチン接種が大きく遅れ、消費者がすべての行動を控えており、販売促進に関して有効な手立てを見い出せないでいる。 イベントやキャンペーン等を検討しようにも、人を集めることは不謹慎であり感染リスクを伴うため、実施することはできない。政府のコロナ対策が「あべのマスク」に始まって以降、場当たりので奏功しておらず、早急なワクチンの接種および国産ワクチンの早期実現を願う。
小売業	酒類販売業	延岡	目先の事にとらわれた結果が今の延岡市、宮崎県だと思う。これから、人口減や高齢化社会を見越した街づくりを行って頂きたい。
小売業	不動産管理	日南	地域限定のgotoトラベルを再実施して頂きたい。感染症対策を継続しながら経済を回して頂きたい。
建設業	建築工事業(木造含)	高鍋	飲食店のみに対して様々な保障が実施されている。納税実績等に応じた支援をして欲しい。
建設業	建設業	串間	打ち合わせの緻密さを再々確認。
建設業	電気工事、電気通信工事	宮崎	コロナ禍の中、ビジネス面における人の県外移動に対し心理面を含めた抵抗感が強く(飲食、観光業以外の)一般のビジネスにも多大な影響を及ぼしている。今後は国の連携しワクチン接種を速やかに進め、少しでも社会の閉塞感に光を戻し、人の移動にも心理的な面を含め抵抗感が低減するよう商工会議所にも出来ることはないか考えて欲しい。また、そのために1事業者として協力できることがあれば求めて欲しい。
建設業	建設業、不動産売買・賃貸・仲介・管理業	宮崎	コロナは国難であると国民(特に若い人たち)は認識し、さすが日本人と世界に知らしめるために国策に従う。

建設業	土木建設業	日南	コロナ対策と経済活動のバランス確保。 ワクチン接種の早期実施。
建設業	電気工事	延岡	新型コロナウイルスの収束を第一に願い、PCR検査の簡易化 及びワクチン接種早期実施を希望。
卸売業	業務用製品卸	日向	飲食関連の卸業を営んでいる。緊急事態宣言を受け、これまで 数度の需要減を経ているが、あてはまる補償はほぼ無く、不公平感を感じている。補償については一律、補償額については各企業、お店に相応した額を精査して配るべきだ。国民の血税をムダにバラまく事だけは、止めてほしい。
卸売業	青果卸	日南	早くコロナが終息しない事には、イベント開催もできず、観光 事業等打撃をうけているのでこの経営も大変だと思う。行政、国が倒産防止の対策としての支援金も50%減～25%減となってますが、これを20%以上としてもらいたい。
サービス業	クリーニング業	延岡	飲食業以外の業種でも新型コロナの影響は大きい、国や 県からの給付金等は、条件によって受け入れられない。いつまで続くかわからないので、今年も厳しい状況。
サービス業	バス事業、旅行事業、航空事業、遊園事業、保険事業、熱供給事業、不動産事業	宮崎	緊急事態宣言の発令後は新型コロナウイルス感染症の発生 が落ち着くが、解除後はまた急激に増加するという事の繰り返しのため、観光業も飲食業も資金繰りの限界が来ている。手厚い保証がなければ、各事業廃業に追いやられるため、雇用人数、昨年の売上に応じた保証など考えて欲しい。
サービス業	民間放送業	宮崎	子育て世代は年収如何に関わらずお金がかかるものだと思う。 年収が高くても年をとつての結婚や出産などもあるわけで、年収のひとつくりに、子ども手当の縮小などあつてはならないと思う。人口減少の中で、子どもが大事といいながら、政策と合致していないと感じている。

サービス業	美容業	西都	コロナがまだ影響する限り景気は望むようにはならないと思いますが、美容業も日々衛生面をしっかりといき、宮崎県もコロナ対策をしっかりとしてほしい。
サービス業	ホテル業	宮崎	コロナに関しては、自社努力だけではどうしても解決できない問題であるため、企業存続のための補助金、助成金をまだまだ充実させてほしい。ほとんどの宿泊業者は瀕死の状況。
サービス業	ホテル業	都城	コロナに対する中企業の支援をもっと増やしてほしい。
サービス業	ホテル業	日南	コロナ対策のエアコン、空気清浄機、換気設備等の費用を10/10の補助をお願いしたい。補助金の申請書に売上何%増加と見込みを記載する項目があるが、このような状況下では記載が難しく、考慮して頂きたい。
サービス業	衣料品販売業	都城	世界で苦しむコロナ禍において、調査内容が現状に合っていないと思う。国民は生活様式が変わりつつあるのではないだろうか。売り手も買い手もこの環境になれるしかない。
サービス業	自動車整備業	西都	とにかくコロナの好転を願う。困窮世帯に「ベーシック・インカム」「ベーシックサービス」等の対応をして欲しい。
サービス業	タクシー業	日向	感染予防の徹底。早急なワクチン接種。

サービス業	建築設計	日南	建設業関連の技術者不足を解消しないと、県南の建設業はなくなる。
サービス業	自動車整備	日向	今、お金を使わなければ損と感じる施策を打ってほしい。
サービス業	タクシー	日南	従業員の募集をしても免許資格が必要な為、すぐに集まらず雇用につながらない。資格取得に補助等があれば一歩ふみ出しが見込めるかもしれない。